

「福島県保健医療福祉復興ビジョン」：総合計画の部門別計画に位置付けられ、新たな総合計画の策定、本県の保健・医療・福祉を取り巻く状況の変化に対応するため、新たに「目指すべき将来の姿」「基本理念」、施策の方向等を示すこととし、令和4年3月に改定が行われました。

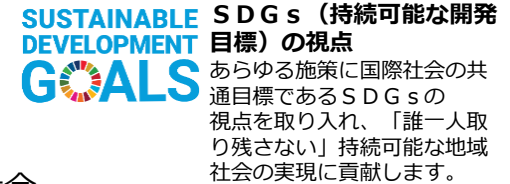
「相双地域保健医療福祉推進計画」：相双保健福祉事務所では、改訂後のビジョンを踏まえ、**相双地域の実情にあわせて課題や施策の方向性等を整理**し、より効率的かつ効果的に施策を推進するため本計画を改定しています。

計画期間：令和4年度から令和12年度までの9年間とします。社会情勢等の変化等に合わせ、柔軟に見直しを行うこととします。

目指すべき将来の姿

東日本大震災・原子力災害を克服し、地方創生を推進するため、次の3つの側面から捉えた理想の福島の実現を目指します。

- ・誰もが生涯を通じて健やかに“いきいきと活躍できる”地域社会
- ・社会全体で子育て・子育てを支援する環境が整備されており、“安心して子どもを産み育てられる”地域社会
- ・安全・安心な保健、医療、介護・福祉サービス提供体制、生活衛生水準、健康危機管理体制などの社会生活基盤が確保されている社会



基本理念

私たちは、「全ての県民が心身ともに健康で、幸福を実感できる県づくり」を理念とし、次のとおり取り組みます。

- 東日本大震災からの復興や少子化・高齢化対策、健康長寿の実現など、**短期間で解決が困難な課題に対しては、施策の検証と改善を繰り返しながら、長期的な視点で、粘り強く解決に取り組みます。**
- 自然災害の頻発化・激甚化、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行や生活困窮、ひきこもり問題、家族の介護等を担う子ども（ヤングケアラー）、社会的孤立問題など、社会の状況はめまぐるしく変化し、様々な課題が次々と顕在化しています。これから訪れる予測困難な未来においても、**しなやかに変化を受け止め、広い視野とチャレンジ精神を持ち、**地域共生社会の実現に向け、これらの課題解決に取り組みます。
- あらゆる分野で複雑化・多様化する保健・医療・福祉の課題に対して、**関係する全てが主体となり、連携・共創し、**一丸となって解決に取り組みます。

スローガン

チャレンジ！誰もがいきいき すこやか共に創る、やさしさと笑顔あふれるふくしま！

1. 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進

- (1)被災者支援
- (2)医療提供体制の再構築
- (3)食品の安産・安心の確保

2. 全国に誇れる健康長寿地域の実現

- (1)健康を維持、増進するための環境づくりの推進
- (2)生活習慣病を予防するための環境づくりの推進
- (3)がん対策
- (4)健全な食生活を育むための食育の推進
- (5)介護予防の推進
- (6)難病対策

3. 質の高い地域提供体制の確保

- (1)医師、看護師等の医療従事者の確保
- (2)地域医療提供体制の確保（産婦人科・小児科医療）
- (3)地域医療提供体制の確保（精神科医療）
- (4)地域医療提供体制の確保（救急医療）
- (5)感染症対策の推進
- (6)血液の確保
- (7)医薬品の有効性・安全性の確保

4. 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

- (1)子育て支援
- (2)援助を必要とする子どもや家庭への支援
- (3)子育てを支える社会環境づくり

5. いきいき暮らせる地域共生社会の推進

- (1)一人一人がつながり支え合えることができる地域づくりの推進
- (2)こころの健康の支援
- (3)介護人材の確保・育成
- (4)地域生活以降など障がいのある方への自立支援
- (5)DVの根絶、児童虐待防止
- (6)生活支援の充実

6. 誰もが安全で安心できる生活の確保

- (1)水道水の安全の確保
- (2)食品等の安全・安心の確保
- (3)公衆浴場等の衛生状態の確保
- (4)人と動物の調和ある共生